

# 令和7年度 療育支援(CPT)チーム PDCAサイクル



目標>特定妊婦の登録時や入院時に、多職種(医師、看護師、社会福祉士)で情報を共有しリスクアセスメントを行い、個別支援計画を作成、チームで支援する。

<活動計画>

- ①産婦人科・小児科の外来や健診時に、チェックリスト(育児不安、経済状況、家族背景)を用いてリスクを客観的に把握する。
- ②産科・高齢診療科合同カンファレンス、周産期カンファレンスにて特定妊婦リストの情報共有、支援計画の検討を行う。
- ③院内スタッフ向けの虐待対応の研修を行い、意識を高める。(年1回)

Plan



- \* 入院時には医療ケアに加え、助産師による育児手技獲得の支援や社会福祉士による福祉相談を実施する等、多職種で介入する。
- \* 指導的立場ではなく「伴走者」として家族に寄り添い、本人が心を開ける環境を作り、些細な変化やSOSのサインをチーム内で即座に共有する。
- \* 地域や小児科との連携を図り、母子支援を継続的に行えるよう計画する。必要時、合同カンファレンスを開催し、支援計画立案、検討する。

Do

Action

- \* カンファレンスで判明した課題に基づき、連携マニュアルやアセスメントシートを使いやすく改訂する。
- \* 困難事例の振り返りを行い、チーム全体の対応スキル(アセスメント能力)を向上させる。
- \* チームとして、アセスメント能力を向上させるため、成功例からの勉強会等を行う。

Check

- \* 定期的なカンファレンスにて、支援中のケースについて「お母さんの不安は軽減したか」「地域支援にスムーズに繋がったか」を検証する。
- \* 「お母さんの表情が明るくなったか」「行政のサービスに繋がったか」を多角的に評価する。
- \* 行政、小児科、精神科等の情報から母子の状況を把握し、多角的に評価する

